

国内の原発で安全審査が合格となり再稼働可能と思われる原子力発電所の一覧・概要

- 原子炉設置変更許可が決定され、再稼働前の原子炉は7基あり。※資料①
- 関西電力・高浜1号機、2号機及び東北電力・女川2号機は、再稼働に必要な地元同意済みであり、現在、原子力規制委員会の審査や必要な工事を実施中。
- 中国電力・島根2号機は、地元同意の手続きが進められている。あわせて、原子力規制委員会の審査や必要な工事を実施中。
- 一方、日本原電・東海第二及び東京電力・柏崎刈羽6号機、7号機は、上記原発に比して、再稼働に向けた課題が残る状況。

会社名・発電炉名	原子炉設置変更許可決定	再稼働に向けた動き・課題
関西電力・高浜1号機、同2号機	2016年4月	再稼働の地元同意済み。関西電力は、特定重大事故等対処施設（テロ対応施設）の設置完了後の再稼働を予定 ※資料② <ul style="list-style-type: none"> ・2021年4月に福井県知事が再稼働に同意 ・特定重大事故等対処施設の設置工事完了後の再稼働が見込まれている → 高浜1号機は2023年6月、高浜2号機は2023年7月の再稼働が予定されている
東北電力・女川2号機	2020年2月	再稼働の地元同意済み。再稼働に向けて保安規定変更認可を残す ※資料③ <ul style="list-style-type: none"> ・2021年12月に詳細設計に関する工事計画の認可 ・安全対策の工事完了は2022年度を予定 ・2020年11月に宮城県知事が再稼働に同意
中国電力・島根2号機	2021年9月	原子炉設置変更許可後、工事計画認可の審査中。また、再稼働の地元同意手続きが進められている ※資料④ <ul style="list-style-type: none"> ・2022年2月、松江市長が再稼働に同意。今後、島根県知事及び県議会の同意が必要 ・島根県知事の同意は2022年4月以降との報道あり
日本原電・東海第二	2018年9月	安全対策工事や原発周辺自治体の避難計画策定の遅れなどの課題あり ※資料⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・安全対策工事の完了は2024年9月を予定 ・水戸地裁が2021年3月、避難計画の不備を理由に再稼働を認めない判決を行ったように、原子力防災に係る動向が不透明な状況
東京電力・柏崎刈羽6号機、同7号機	2017年12月	再稼働に必要な許認可は全て終了したが、現在、事実上の「運転禁止」の状態 ※資料⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・2021年4月、原子力規制委員会が東電に対し、原子炉等規制法の是正措置命令を発出 ・2021年10月から、原子力規制委員会による核物質防護措置に関する検査が行われており、検査終了までは1年以上掛かる見込み ・上記検査結果を踏まえて、核物質防護措置の改善が認められるまでは、再稼働不可